

観光の振興

本町の観光は、ニセコ連峰・羊蹄山に代表される豊かな自然と観光資源に恵まれ、古くからスキーの歴史とともに、本町産業の牽引役として発展してまいりました。

ここ数年は、外国人観光客が急増し、また、これに伴い外国資本による不動産投資なども活発になり、観光と不動産投資の両面でのグローバル化が急激に進み、国際リゾート地として国内外から大きな注目を浴びております。

一昨年、東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故による風評被害の影響で大きく減少した外国人観光客は、関係機関団体等の努力もあり、回復の見込みであり、過去最大の入り込みとなるのでは、とも言われておりますが、今後も継続した誘致事業の展開が大きな課題となっておりますので、関係機関団体と連携協力し、事業推進を図る必要があります。

昨年、一般社団法人となった倶知安観光協会の組織強化と各種事業の推進を図るため、昨年度に引き続き観光協会の事業補助金を増額いたしました。

また、国際リゾート地における地域運営の新たな仕組み作りを平成23年度に着手したところであり、継続して地域独自の分担金制度確立の検討を進めるとともに、地域組織設立に向け、ひらふ地区における自立的まちづくりシステムの構築を支援することといたします。

さらに通年型観光の推進に向け、今年度は地域ビジョン

の策定及び交流拠点の整備を検討するため、地域づくり総合交付金を活用し「ひらふ高原地域活性化事業計画及び観光中核施設整備計画策定」業務を委託することとし、所要の経費を計上いたしました。

また、ニセコ町をはじめ主要観光地と本町の観光相互間連携によって広域観光圏を形成し、地域の魅力増進により国際競争力を高め、国内外からの観光客の来訪及び滞在促進を目指すため、引き続き広域連携事業を進めてまいります。